

第9回(平成18年度)

七十七
ビジネス
大賞

株式会社カネタ・ツーワン



代表取締役
田畑 正伍 氏

●企業の概要

住 所：仙台市若林区卸町東四丁目1番5号
設 立 年：平成12年（創業：昭和28年）
業 種：食品製造・卸売（珍味、乾物、海苔等）
資 本 金：96百万円
従業員数：155名

●事業の概要

海苔・海産乾物の製造・卸売業として創業。売上の拡大に伴い海苔、珍味、農海産乾物の製造会社を分社化し、カネタグループとして製販一体での商品企画・開発に取り組み業界での知名度を向上。販売拠点は、新潟と東北6県を中心に札幌から福岡まで24ヶ所を展開し、現在珍味卸販売の量販店・問屋等小売店シェアは全国業界第2位。



本社社屋

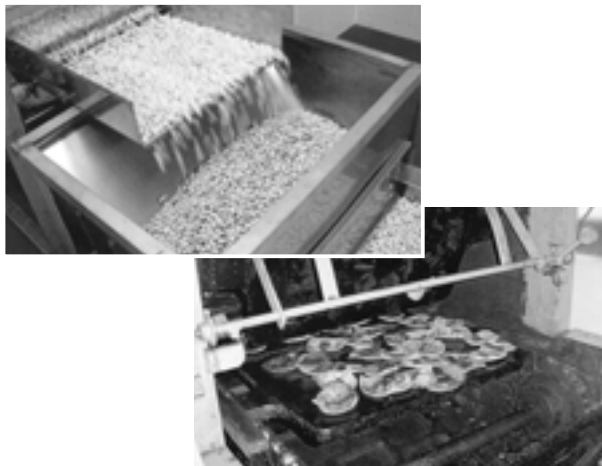


志津川工場



新潟工場

厳しい自主基準による徹底した品質管理と、的確なマーチャンダイジング力を誇る珍味卸業界のトップクラス企業



各種商品



工場内風景



商品企画会議

●受賞の理由

創業以来品質にこだわり3ヵ所の自社工場では、品質について厳しい自主基準を設け徹底した品質管理を行っている。特に素材、鮮度にはこだわり受注生産を基本に、社内各拠点のオンラインネットワークによる受発注データに即応してスピーディーに生産・発送。自社工場ならではの高品質で製造コストを極力抑え、常にできたてのおいしさを味わえる品質重視と顧客重視の生産体制に取り組んできた姿勢は高く評価できる。

3,000アイテムを超える圧倒的な商品開発力と地域および個店に密着した商品企画、カテゴリーマネジメントによる委託製造とクライアントへの適切な売場提案を継続的に実施。消費者および販売店の幅広い要望にいち早く応えるそのマーチャンダイジング力は、他社の追随を許さないものがある。

消費者ニーズが一層多様化するなか、クライアントの「新しい売上の創造」、そこから生まれるクライアントの「プラス利益の創造」、そして「新しい食文化の創造」の「3つの創造」を目標とし実践している経営理念と行動は注目に値する。

平成17年10月新たな製造拠点と販売の開拓のため、中国・威海市に豆菓子等の現地合弁会社を設立し、中国市場への営業展開と日本への逆輸入販売を開始。また今年中には増加が予想される高齢者世帯向けに、チルド商品に重点を置いたおかず商品の製造・販売を計画準備中。既存商品の拡充を図りながら海外展開や新商品の開発など、業界のリーダーとして活躍が大いに期待される企業である。